
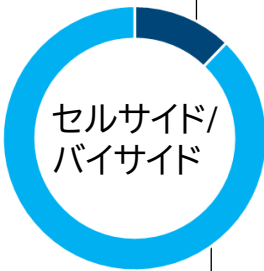



当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様と積極的に対話を行うとともに、対話によって得られた貴重なご意見を経営陣・取締役会にフィードバックし、経営及びIR活動に活かすことを通じて、企業価値向上を目指しています。

主な活動内容	実績 (2026年3月期)	対話相手の属性情報／当社スピーカー		
アナリスト・機関投資家向け 決算説明会	4回	 <p>国外 56% 国内 44%</p>	 <p>セルサイド 12% バイサイド 88%</p>	 <p>経営層 51% IR部門担当者 49%</p>
アナリスト・機関投資家との 個別ミーティング	361件 (29件※)			

※証券会社主催カンファレンスで実施した面談

主な対話テーマ

- 旅客運輸収入の見通し
- 運賃改定・加算運賃制度
- コスト削減の方針、具体策
- 都市・生活創造事業の成長戦略
- キャッシュアロケーション(成長投資、株主還元)

対話を踏まえた取り組み

- 不動産事業の中期的な営業利益見通しに関するご質問を多数いただいたことを踏まえ、決算説明会資料に営業利益増減要因の説明ページを追加しました。
- 海外投資家との対話促進のため、統合報告書等の英文開示を拡充しました。

経営陣・取締役会へのフィードバック

- 対話を通じて得られたご意見について、取締役会・経営会議に四半期ごとに報告を行っています。